

I. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

中国全土を統一した隋に対して、日本は倭の五王以来約130年ぶりに国交を結んだ。これは 中国を ^(ア) 宗主国とした従来の外交関係ではなく、対等の外交関係を企図するものであった。 煬帝は小野妹子が持参した国書の文言を非礼としつつも、翌年 (1) (2) を答礼の使者として日本に送った。遣隋使には多くの留学生や僧が随行し、彼らは帰国後朝廷で重用され、律令制度や仏教文化など様々なものをもたらした。

この時代は朝廷によって仏教が保護され、大いに盛行した。聖徳太子は高句麗僧 (3) (4) に仏教を学んで (ア) 仏典の注釈書を編纂したと言われ、多くの氏族が寺院を建立した。 寺院の伽藍や仏像の様式には、中国や朝鮮半島からの影響が色濃く現れている。

隋が滅び唐となると日本は第一次遣唐使として (5) (6) らを送り、以降も中国王朝との外交関係を保持した。だが朝鮮半島の情勢により、唐との関係が緊張したものになっていく。

新羅は唐と結んで660年に百済の首都扶余を陥落させた。百済の王族であった (7) (8) は、日本に対して救援と王子の豊璋の返還を求めた。朝廷は翌年豊璋を送り返し、援軍を派遣した。 齊明天皇 ^(イ) は九州まで出陣するも (9) (10) で崩御し、代わって (11) (12) が 皇太子のまま ^(ウ) 政務を執り、蝦夷対策の任についていた (13) (14) らを主力とする部隊を百済へ派遣した。これに対して唐は援軍を送り、新羅・唐連合軍は白村江で百済・日本連合軍を破った。日本はこの敗北で朝鮮半島から撤退し、逆に新羅・唐の攻撃に備えて九州北部に土塁を連ねた (15) (16) を築き、防人を配置するなどして守りを固めた。

669年の派遣以降、30年ほど途絶えていた遣唐使は702年に (17) (18) らを派遣して再開する。唐の文化は盛んに輸入され、 (エ) 長安城に倣って平城京の都市計画が行われるなど、我が国に大きな影響を与えた。 仏教教理や法制の研究の為に危険を冒しての渡航であったが、途中で難破したり、 入唐した ^(オ) ものの帰国出来ずに客死する者もいた。 帰国出来た者は多くの文物も持ち帰り、その中には遠くペルシャなどの影響を受けたものもある。

また唐だけではなく、中国東北部に興った渤海や、朝鮮半島を統一した (19) (20) とも盛んに使節の往来があった。彼らとは漢文でやりとりを行い、宴席で漢詩の応酬をするなど、活発な文化交流も行われた。例えば (21) (22) には京師の (23) (24) で渤海使と応酬した漢詩が数首ある。漢詩文は平安時代初期には貴族層に必須の教養となり、自在に創作活動を行うなど深い造詣を持つ人々が現れた。中でも (25) (26) 天皇は自らも漢詩を詠み、 漢詩文集を編纂させるなど、当代一流 ^(カ) の文化人でもあった。九世紀末頃までは唐の影響を強く受けた文化が栄え、密教と漢詩文がこの時代の特色となった。中でも (27) (28) は真言宗を開いただけでなく、文学者としてもこの時代を代表する人物であり、六朝から唐にかけての文学理論を集めた (29) (30) など、貴重な資料を残している。

遣唐使は838年が事実上最後となり、遣唐大使 (21) (22) の建言により894年に廃止される。

^(キ) 王朝崩壊の危殆に瀕していた唐に、危険を冒してまで遣使する必要は無いというのが廃止の理由の一つであった。中国とは引き続き民間貿易などで交流が続けられ、中国文化への関心が無くなった訳ではないが、これを一つの契機として日本独自の国風文化が生まれることになった。

- 〔A〕 文中の空欄 (1) (2) ～ (29) (30) に入る最も適切な語句や人名を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。ただし、選択肢は 2 桁の数字であるから、次の点に注意すること。空欄の左側は 10 の位を、右側は 1 の位を表す。例えば、空欄 (1) (2) の解答が 19 だとしたら、解答欄 (1) は ① をマークし、解答欄 (2) は ⑨ をマークしなさい。

《語群》

11 朝倉宮	12 飛鳥浄御原宮	13 安曇比羅夫	14 阿倍比羅夫	15 粟田真人
16 石築地	17 犬上御田鍬	18 恵慈	19 円珍	20 大海皇子
21 小野篁	22 桓武	23 観勒	24 鬼室福信	25 紀古佐美
26 吉備真備	27 景戒	28 空海	29 百済	30 顕戒論
31 高句麗	32 鴻臚館	33 最澄	34 嵯峨	35 早良親王
36 淳和	37 聖武	38 性霊集	39 新羅	40 菅原道真
41 泉蓋蘇文	42 高向玄理	43 高市皇子	44 大宰府	45 橘広相
46 張政	47 朝鮮	48 伴善男	49 曇徴	50 中大兄皇子
51 難升米	52 難波宮	53 淳足柵	54 裴世清	55 風信帖
56 藤原宮	57 藤原百川	58 文鏡秘府論	59 平城	60 松原客院
61 水城	62 都良香	63 旻	64 劉仁軌	65 類聚国史

- 〔B〕 文中の下線部 (ア) ～ (キ) について、以下の設問の解答を、解答用紙 B の所定の解答欄に漢字で書きなさい。

- (ア) 聖徳太子が中心となって編纂したとされる仏典の注釈書は、総称して何と呼ばれるか。
- (イ) 齐明天皇のように、一度退位した天皇が再度皇位に就くことを何と言うか。
- (ウ) 天皇が空位の時に、皇太子などが天皇として即位せず政務を執ることを何と言うか。
- (エ) 都城の土地を碁盤目状に区画する制度を何と言うか。
- (オ) 752年の遣唐大使は帰国時に渡海に失敗し、数年後に日本から迎えが来るも安史の乱を理由に帰国を許されなかった。その後は唐朝に仕えて生涯を終えたこの人物は誰か。
- (カ) (25) (26) 天皇の命によって作られた最古の勅撰漢詩文集は何か。
- (キ) この遣唐使の一員で、唐に残留して各地の寺院や長安などを巡り、後に帰国した僧がいる。この人物が唐滞在中 9 年半にわたって書いた日記で、当時の中国庶民の生活を知る重要な資料となっているものは何か。

- 〔C〕 下線部 (あ) の体制は冊封体制と呼ばれる。冊封体制に入った諸国が、中国王朝に対して原則として行わなければならない義務のうち二つを、解答用紙 B の所定の解答欄に各々 15 字以内で書きなさい。

Ⅱ. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

室町時代は動乱のうち続いた時代であったが経済的発展にはめざましいものがあった。水田の二毛作は灌漑や排水施設の整備・改善によってさらに広まり、水稻の品種改良も進んで各地の自然条件に応じた稲が栽培されるようになった。また、赤米とも呼ばれる多収穫で虫害に強い輸入品種の（ a ）が普及して安定した農業経営が広く行われるようになった。原料作物の栽培や加工品生産も盛んに行われ、これらが商品として流通するようになった。地方の産業が盛んになると遠隔地取引も活発になり、廻船の往来も頻繁になった。（ b ）領兵庫北関の関銭徴収帳簿である「兵庫北関入船納帳」などは当時の廻船運航の活況ぶりをよく伝えている。

商品経済が盛んになると貨幣の流通が活発になり、農民の年貢銭納も多くなった。遠隔地取引の拡大とともに貨幣の輸送を（31）（32）と呼ばれる手形で代用する為替の利用もいっそう盛んになった。貨幣経済の発達には金融活動を促し、酒屋・土倉だけでなく、寺院も死者の供養のために寄進される（33）（34）を資金にして積極的に金融業を営み、庶民の間では相互金融の（35）（36）なども発達した。また、この時代には商工業者たちの座の種類や数も飛躍的に増加し、なかには朝廷や大寺社から（37）（38）・（39）（40）の称号を得て、関銭免除や独占販売などの特権を認められるものもあった。大山崎の油（39）（40）はおよそ10カ国での油の販売と、その原料である（41）（42）購入の独占権を有し、蔵人所の灯炉（37）（38）となった（43）（44）は関銭を免除されて全国的な活動を展開した。

貨幣経済の発達により酒屋・土倉などはますます豊かになったが、他方で借金に苦しむものも少なくなかった。1428年、足利（45）（46）の死後に起きた^(ケ)正長の土一揆では、近江の（47）（48）が徳政を要求して一揆の口火を切った。さらに6代將軍（49）（50）の死後には、代始めの徳政を求めて（51）（52）の土一揆が起こり、ついに幕府による徳政令が出された。その後、幕府はたびたび徳政令を出すようになるが、手数料取得のために（ c ）徳政令を出すことが多かった。また、貨幣の需要の増大とともに粗悪な私鑄銭も出回り、悪銭の受取り拒否が頻繁に起こるようになったため、幕府や大名は（ d ）令を出して貨幣流通の円滑化を図ろうとした。

戦国時代には城下町をはじめ各地で様々な都市が発達した。大寺院だけでなく地方の中小寺院の門前町も繁栄し、特に（53）（54）の勢力の強い地域では寺院や道場を中心に寺内町が建設されて門徒の商工業者が集住した。交通や商品流通が活発になると港町や宿場町なども繁栄するようになった。富裕な商工業者たちが自治組織を作って町政を運営することもあり、（55）（56）では末吉氏ら七家が年寄衆として町政の運営に当たっていた。また、堺の町の様子は、『耶蘇会士日本通信』に収められている^(ケ)ポルトガル人宣教師の1561年の書簡の中で「ベニス市の如く執政官に依りて治めらる」と形容されている。

戦国大名は新しく服属させた国人とともに地侍を家臣に組み入れ、これら家臣たちの収入額を、銭に換算した（57）（58）という基準で統一的に把握した。（ e ）で換算表示する場合は永高とも言われる。家臣は地位・収入を保障されるかわりに（57）（58）に応じた軍役を課せられた。戦国大名は新たに征服した土地などでしばしば検地も行った。戦国大名の検地の過半は家臣である領主らに自己申告させる（59）（60）方式のものであったが、この検地によって農民の耕作する土地面積と年貢量などが^(コ)検地帳に登録され、大名の土地と農民に対する直接支配の方向が強化された。同時に大名たちは、武器

などの大量の物資の生産・調達を必要としたため、領国内に分散していた商工業者を新しく編成しなおして統制した。商工業者の力を結集した大名は、大規模な城や城下町の建設、石見の大森銀山・(61) (62) の黒川金山などの鉱山開発、大河川の治水・灌漑などの事業を精力的に行った。さらに戦国大名たちは、通行と物資の輸送を円滑にするため、関所を撤廃したり、宿駅を設け周辺の農民に (63) (64) 役を課して (63) (64) 制度の整備に努めた。また、商品流通を盛んにするため楽市令が出されることもあった。

[A] 文中の空欄 (31) (32) ～ (63) (64) に入る最も適切な語句や人名を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。ただし、選択肢は 2 桁の数字であるから、次の点に注意すること。空欄の左側は 10 の位を、右側は 1 の位を表す。例えば、空欄 (31) (32) の解答が 19 だとしたら、解答欄 (31) は ① をマークし、解答欄 (32) は ⑨ をマークしなさい。

《語群》

11 伊豆	12 鋳物師	13 永享	14 永仁	15 桂胡麻	16 越後
17 大湊	18 甲斐	19 嘉吉	20 鍛冶	21 借上	22 過書
23 寛正	24 貫高	25 梶取	26 給人	27 享徳	28 銀高
29 供御人	30 公文銭	31 検見	32 石高	33 御用商人	34 割符
35 指出	36 佐渡	37 祠堂銭	38 神人	39 浄土真宗	40 定飛脚
41 定免	42 真言律宗	43 駿河	44 曹洞宗	45 頼母子	46 段銭
47 抽分銭	48 通信符	49 継飛脚	50 天台宗	51 伝馬	52 問丸
53 問屋	54 刀禰	55 菜種	56 博多	57 馬借	58 番匠
59 平野	60 札差	61 振売	62 文引	63 紅花	64 冥加
65 綿実	66 山城	67 結	68 義詮	69 義量	70 義勝
71 義教	72 義尚	73 義視	74 義持	75 寄合	76 寄親・寄子
77 臨濟宗	78 連雀商人				

[B] 文中の空欄 (a) ～ (e) に入る最も適切な語句を解答用紙 B の所定の解答欄に漢字で書きなさい。

[C] 下線部 (ク), (ケ), (コ) について以下の設問の解答を解答用紙 B の所定の解答欄に書きなさい。

(ク) この一揆に関して「日本開^{かいびやく}白以来土民蜂起是れ初めなり」という記述が見られる、尋尊によって記された年代記は何か。

(ケ) 当時、足利13代将軍から許可を得て主に畿内で布教活動を行っていた、この宣教師は誰か。

(コ) 鎌倉時代を中心に一国内の荘園・公領すべてについて作成され、国ごとの賦課の基準として室町時代まで重要視された図田帳・田数帳とも呼ばれる土地台帳を何と言うか。

Ⅲ. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

江戸幕府は、開国後、政治体制の強化および国としての自立をはかるため、欧米諸国の文化や学術を取り入れて近代化を推進しようとした。1855年に (65) (66) を独立させて洋学所とし、翌年これを蕃書調所と改称して英学・蘭学などの翻訳に当たらせた。また政治や経済、法制などを学ばせるために、オランダやイギリス等に留学生を送り込んだ。オランダで学んだ国際法を翻訳した (67) (68) や、J.S.ミルの『自由論』を翻訳した (69) (70) もそういった留学生である。幕府は1860年 (71) (72) の批准書交換のために首席全権として (73) (74) をアメリカに派遣した。このときの随行艦となった (f) に乗船していた (75) (76) は、その後の欧米渡航もあわせた経験に基づき (77) (78) を著し、欧米で見聞したことや西洋書からの知識を紹介した。その中で「天下の急務は学校を設けて之を扶持するより先なるはなし」と国民教育を重視する考えを披露し、また、1868年に科学の初歩を説いた (79) (80) や続く1869年に世界各国事情を子供向けに紹介した (81) (82) を著した。また、^(サ)人は生まれながらに貴賤の別があるのではなく、学問を学んで封建的な身分意識を打破すべきだと説いてベストセラーとなった著作のほか、例えば日本で初めての西洋式簿記の教科書といえる (83) (84) なども著し、人々の啓蒙に努めた。

近代化のために国民教育が不可欠であることは、明治新政府の指導層も深く認識していた。富国強兵を目指して国づくりを進める明治政府は、鉄道を敷設し、郵便制度を整え、官営工場を設立するなど (g) を推進すると同時に、欧米の近代的な学校教育制度を採用して国民教育の充実を目指した。1871年 (85) (86) を設置し、翌1872年 (87) (88) の制度になった (89) (90) を公布する。その序文では^(シ)「一般ノ人民華土族農工商及婦女子必ス^{むら}邑ニ不学ノ戸ナク、家ニ不学ノ人ナカラシメン事ヲ期ス」と教育の機会均等の原則が明確にうたわれた。

同じころ、条約改正の予備交渉を目指して (91) (92) を全権大使とする使節団が欧米に派遣された。使節団には、当時北海道開拓次官だった (93) (94) の建議で派遣の決まった女子5人のほか多数の留学生が同行した。明治政府の留学生派遣はその後組織的に行われるようになり、こういった留学生たちが留学を終えて帰国した後、それぞれの分野の専門家として^(ス)お雇い外国人に代わって日本の近代化を推進していくことになる。女子留学生の一人だった (95) (96) は留学を終えた後1900年に女子英学塾を開き、個性の尊重に主眼を置く特色ある女子教育を行ったが、女子英学塾開設の前年度に公布された高等女学校令では、(h) の育成が目指され、女子教育も富国強兵政策の一環に組み込まれていく。

これに先立つ1879年、(97) (98) の制度を取り入れた自由主義的な色彩の濃い教育令が公布されるが、翌年にはそれが改正され、政府の指導・監督がより強化された。1886年には初代文部大臣の (99) (100) によって学校令が制定され、従来の自由主義的な教育方針が国家主義的色彩の強い教育方針へと転換する。1890年、第一回帝国議会の開会直前には (101) (102) が発布され、忠君愛国を学校教育の基本として天皇制が強化され、国民の思想の統一が急速に進められるようになった。^(イ)(103) (104) 戦争の後には尋常小学校の授業料を徴収しないことが原則となり義務教育4年制が確立する。小学校における就学率は急速に上昇し、明治末期には児童の就学率は (105) (106) %を超えるに至った。また1903年 (107) (108) が成立し、以後、特に小学校では儒教道徳に基づく修身教育が重視され、明治初期の自由主義・功利主義的な教育政策は次第に国家統制を強化する方向に向かっていくこととなった。

〔A〕 文中の空欄 (65) (66) ～ (107) (108) に入る最も適切な語句や人名を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。ただし、選択肢は 2 桁の数字であるから、次の点に注意すること。空欄の左側は 10 の位を、右側は 1 の位を表す。例えば、空欄 (65) (66) の解答が 19 だとしたら、解答欄 (65) は ① をマークし、解答欄 (66) は ⑨ をマークしなさい。

《語群》

11 55	12 75	13 95	14 アメリカ
15 イギリス	16 石井・ランシング協定	17 井上馨	18 岩倉具視
19 大久保利通	20 オランダ	21 改正教育令	22 開成所
23 華夷通商考	24 学制	25 学問のすゝめ	26 勝海舟
27 学校教育法	28 加藤弘之	29 木戸孝允	30 義務教育 6 年制
31 教育基本法	32 教育勅語	33 訓蒙窮理図解	34 黒田清隆
35 黒田清輝	36 国定教科書制度	37 国民学校令	38 西国立志編
39 自由之理	40 新見正興	41 西南	42 西洋事情
43 世界国尽	44 大学南校	45 泰西国法論	46 高橋是清
47 帳合之法	48 津田梅子	49 ドイツ	50 中村正直
51 新島襄	52 西周	53 日米修好通商条約	54 日米和親条約
55 日露	56 日清	57 日本開化小史	58 蛮書和解御用
59 福澤諭吉	60 フランス	61 文明論之概略	62 米欧回覧実記
63 森有礼	64 民部省	65 民約訳解	66 陸奥宗光
67 文部省	68 山県有朋	69 吉益亮子	70 曆象新書

〔B〕 文中の空欄 (f) ～ (h) に入る最も適切な語句を解答用紙 B の所定の解答欄に漢字で書きなさい。

〔C〕 文中の下線部 (サ)、(シ)、(ス) に関する以下の設問に対して最も適切な語句を解答用紙 B の所定の解答欄に書きなさい。

(サ) このように述べるもととなった思想を何と言うか。

(シ) この序文は一般に何と呼ばれているか。

(ス) このうち大蔵省に招かれて各種の紙幣などの印刷原版の作成と技術指導を行った人物は誰か。

〔D〕 下線部 (い) の (103) (104) 戦争の後に教育基金が設けられ義務教育の充実が図られたが、基金設立当初の財源は何か。解答用紙 B の所定の解答欄に 12 字以内で書きなさい。